

記入例

入力用は次ページにあります

実施証明書兼再発防止誓約書

支援機関が郵送等で**原本**を提出

送付先
〒100-8228
東京都千代田区大手町 2-6-2
株式会社 パソナ
官公庁事業部 官公庁第3チーム
専門家派遣事業事務局
03-5542-1685

本来、専門家派遣を受ける場合は、支援開始時及び終了時に事務処理等実施機関へその旨報告するべきところ、報告を失念しておりました。支援開始時及び終了後、以下のとおり支援が実施されたことを証明します。

なお、以下の証明内容の主要部分に虚偽の内容が含まれていた場合には、当該証明内容に係る謝金及び旅費が支給されない可能性及び刑事責任等に問われる可能性があることにつき、承知していることを申し添えます。

従事証明に入力する「支援を受けた場所の名称」と「支援を受けた場所の所在地」を記入

申請日時ではなく、実際の支援日時を記入
従事証明記載の日時と一致していることが必要

【支援実施証書記入例】

支援実施日時	令和2年6月18日 10:00 ~ 18:00 17:00
支援実施場所 (支援を受けた場所)	〇〇〇〇株式会社本社事務所
(支援を受けた所在地)	東京都千代田区大手町2-6-2
支援を行った者 (専門家)	田中 一郎
支援を受けた者 (事業者)	山田 三郎
支援に同席した者 (支援機関)	支援 五郎

同席なしの場合は「同席なし」と記入

訂正の場合は3者の訂正印が必要

異なる担当者でも可
派遣制度を利用する際には、支援開始時及び終了時に事務処理等実施機関へその旨報告することをここに誓約します。

異なる担当者でも可
派遣可能機関以外の構成機関が派遣可能機関に派遣手続きを依頼した場合は、当該依頼した構成機関と担当者でも可。

支援実施日以降の日付

令和2年6月20日

支援機関名及び担当者名	(支援機関名) △△△△信用金庫	
	(担当者名) 支援 五郎	(印)
派遣専門家名	支援 五郎 田中 一郎	(印)
支援を受けた事業者等名 及び担当者名	(事業者等名) 〇〇〇〇株式会社	
	(担当者名) 山田 三郎	(印)

訂正の場合は単独の訂正印

全てキーボード入力可、印鑑は法人印でも可。消えるペンは不可。
訂正は二重線で消して訂正印を押印。ホワイト等での修正は不可。

支援実施証明書兼再発防止誓約書

本来、専門家派遣を受ける場合は、支援開始時及び終了時に事務処理等実施機関宛てに、その旨報告すべきところ、報告を失念しておりました。支援開始時及び終了時の報告に代え、以下のとおり支援が実施されたことを証明します。

なお、以下の証明内容の主要部分に虚偽の内容が含まれていた場合には、当該証明内容に係る謝金及び旅費が支給されない可能性及び刑事責任等に問われる可能性があることにつき、承知していることを申し添えます。

【支援実施証明内容】

支援実施日時 令和 年 月 日 : ~ :

支援実施場所
(支援を受けた場所) _____
(支援を受けた所在地) _____

支援を行った者 (専門家) _____

支援を受けた者 (事業者) _____

支援に同席した者 (支援機関) _____

また、今後専門家派遣制度を利用する際には、支援開始時及び終了時に事務処理等実施機関へその旨報告することをここに誓約します。

令和 年 月 日

支援機関名及び担当者名 (支援機関名) _____ 印
(担当者名)

派遣専門家名 _____ 印

支援を受けた事業者等名 (事業者等名) _____ 印
及び担当者名 (担当者名)